

第 2 問

歴史上、人々は様々な目的で壁を建設してきた。外界から隔絶された空間を作り出す壁は、敵の攻撃に対する防衛の役割を果たすことが多かったが、ときに特定の集団の排除や差別を意図して建設されることもあった。このことを踏まえて、以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄(ロ)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(3)の番号を付して記しなさい。

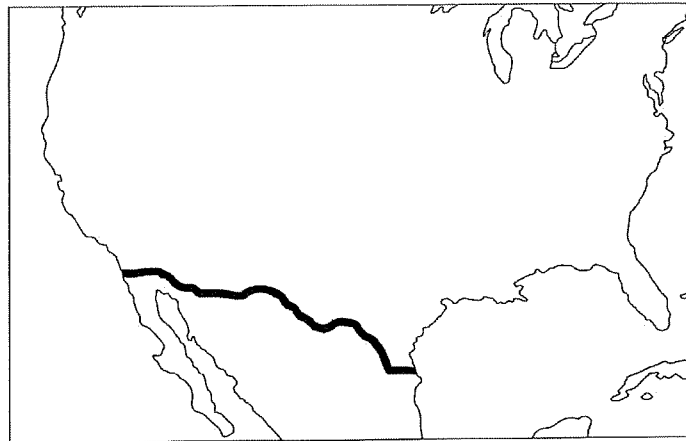
問(1) 外敵の侵入を防ぐために大規模な長城が築かれることがあった。このことに関連する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) ローマ皇帝のハドリアヌスは、ブリタニアに長城を築くなど広大な帝国の防衛強化に努めたことで知られるが、これは先代皇帝の積極的な領土拡大政策からの転換でもあった。この先代皇帝の名前を挙げながら、その時代のローマ帝国の領土拡大について、2行以内で説明しなさい。

(b) 中国では、古くから北方民族の侵入に備えるためにいわゆる「万里の長城」が築かれてきたが、現存する長城の大部分は15～16世紀に建設されたものである。この時期に長城建設が重視された背景となる、15～16世紀の中国王朝と北方民族との対立を具体的に2行以内で説明しなさい。

問(2) 市街地を城壁で囲って防御した城郭都市は、古来、アジアやヨーロッパを中心に各地で広くみられた。かつてのバグダードも8世紀に正円の城壁で囲まれた都市として建設されたが、その後徐々に衰退し、13世紀には徹底的に破壊されることになった。8～13世紀のバグダードの歴史について、この都市が果たした経済的・文化的役割にも触れながら、4行以内で説明しなさい。

問(3) 異なる民族・思想・宗教などを排除するために建設された壁は、差別や分断の象徴的な意味を持つことがある。このことに関連する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。



地図

(a) 2017年にアメリカ合衆国大統領に就任したトランプは、隣国からの不法移民を防ぐために両国間の国境沿いの壁を強化することを表明して議論を呼んでいる。地図中の太線は現在の両国の国境線であるが、もともとこの一帯はその隣国の領土であった。幾度かの両国間の戦争や国境争いを経て、1848年に終結した両国間の戦争の講和条約の内容と、1853年にアメリカ合衆国が購入した領土の境界とに基づいて、おおよそ現在の国境線に落ち着いた。1848年に終結した両国間の戦争について、その背景と結果を2行以内で説明しなさい。

(b) かつて東ドイツが西ベルリンとの境界に築いた壁は、東西世界の分断の象徴であった。東ドイツにおいてベルリンの壁が建設された背景と崩壊した背景を、3行以内で説明しなさい。